

小さくても元気で明るい輝きのあるまち

町報

# こうふ

No.494

2012

5月

色とりどりのこいのぼり

さわやかな春風を受けて。



■夜振橋に掲揚されたこいのぼり 子どもたちの成長を願って

## 今月号の 主な内容

- 支え愛地域でみまもるまちづくり…2～3
- 中学校・小学校入学式……………4～5
- まちの話題……………8～9
- 暮らしの情報……………18

■ まちの人口	3,399人 (-5)
男	1,589人 (-5)
女	1,810人 (±0)
■ 世帯数	1,127世帯 (-1)
	4月末現在 ( ) は前月比

# 支え愛 地域でみまもる まちづくり



地縁・社縁・血縁が崩壊し、つながりのない社会、縁のない社会、「無縁社会」という造語が使われ始め、実際に一人ぼっちが急増している日本。わが町では、まだ遠い社会のようですが、現在独居世帯は239世帯、総世帯数の21.9%を占め、高齢化率は39.78%となっています。このような中、住み慣れた地域で安心して充実した生活を送るために、一人ひとりが地域社会に参加し、支え愛活動を行っていく必要があります。地域や若者の団体が頑張っている「支え愛活動」を紹介します。



会長と町長 認定証を手にもって

## テレビでおなじみの 「トンカチ屋さん」 とっとり支え愛シニア認定証授与

高齢者世帯、独居世帯の軽作業を支援し、あわせて会員の生きがい、やる気、健康づくりを目的として、平成十六年度に結成された会員十四名（男四名、女十名）からなる団体「トンカチ屋さん」。地域で長年支え愛活動に取り組み、また継続した活動に敬意を表し、こうした活動となるよう「とっとり支え愛シニア認定制度」を鳥取県が創設。今回この活動が認められ、三月二十六日、鳥取県庁で認定証が授与されました。会長の末次喜三男さ



大きな注意看板を立ていざ作業!

庭木剪定にがんばる  
トンカチ屋さん



んは、「高齢化の進む地域で、これまでの人生で培った知識や経験、学びの成果を、なんらかの形で地域社会の支援者として生かしていただきたい。一人ひとりができることは、些細なことかもしれないが、できる範囲で、明るく楽しくさわやかに、自らも楽しみながら、生きがいを持って前向きに取り組む、地域社会との交流に役立ちたい。」と今後の活動についても熱く語られ、頼もしく感じました。

今年度は、独居世帯の庭木剪定、公共施設の維持管理、健康講座や調理実習、防災訓練、また地域での民俗行事の掘り起こしなどの活動も行っていく予定です。

## 江府町青年団

### 「お助け隊派遣ボランティア」が行く！

団員数の減少により活動休止を余儀なくされていた江府町青年団が、昨年十一月から活動を再開。新たに集まった団員たちは、毎月かささず定例会を開き、地域を支え、町を盛り上げることを目標に活動中です。

二月には、高齢者のみで暮らしている町内のお宅を対象に「お助け隊」を結成。「誰かがちよっと手伝ってくれたら助かるのに…」そんなちよっとした困りごとを助ける活動です。募集から早速申し込みがあり、二月十八日、大雪の



鳴らないチャイムを確認する団員



笑顔で訪問。こんにちは！



電池交換をする青年団員

中四名の団員が出動しました。玄関のチャイムの故障に関する依頼であり、対処できないのではという不安もあったそうですが、試行錯誤の結果、無事に依頼を果たすことができ、団員たちは奉仕活動の喜びを感じ、依頼人は、「こんな大雪の中、若い人が何人も家に来てくれ、またチャイムを直してくれてありがとう。またきてほしいよ。」と大変喜んでいました。「非常に軽微な作業なのですが、

こうして自分たちを待っていてくれる人がいてうれしい。また、依頼があれば、どんどん出かけて多くの地域の方に喜んでいただきたいと思います。」と高津団長は笑顔で話していました。

四月十四日には江尾・上之段広場を会場として、地域のみならず「お花見会」を開催。

一律の参加費で食べ放題・飲み放題の会としたところ、予想以上の予約が殺到。まちにまつた桜の下、青年団員が調理した食べ物で、年齢を問わず多くの方々の参加があり、にぎやかな会となりました。参加者からは、「青年団が再開してくれて大変うれしい。自分が若かったころを思い出さうです。この活動が大きな輪となって、この地域の活性化の起爆剤になって

ほしい。」とエールを送っていました。



年齢をとわずみんなでワイワイお花見会

### 地域でのささえ愛の大切さを語る

社会福祉協議会では、地域での支え愛の大切さについて、地域の方と一緒に考える会「福祉座談会」を高齢者の閉じこもり予防もかねて開催します。多くの方に参加していただき、老若男女年齢を問わず全町民が、ボランティア活動に参加しやすい環境を築き、相互扶助の精神で満ちた町にしたいと考えています。

「他人に興味を持たない社会」が広がる中、随分と前に戻るのには無理かも知れませんが、少なくとも人を思いやれる社会であってほしいと思います。



新1年生・保護者・先生みんなで集合写真



緊張した表情の新入生



## 中学校入学式

四月九日、江府中学校（船越寛明校長）で、平成二十四年度の入学式が行われ、二十四名が入学しました。吹奏楽部の演奏により、在校生、保護者、来賓者の見守る中、緊張気味の表情で入場。新入生点呼では、ひとりひとりの名前が呼ばれると大きな声で返答。学校長からは、「こころのこもったあいさつ、もの・ひと・自分を大切に感謝の気持ちをもつ。このことを大切に充実した中学校生活を送ってほしい。」と式辞。新入生を代表して、森田亮さんが「新たな気持ちで忘れることなく、江府中学校の生徒として自覚と誇りを持って、仲間と絆を深め、勉強や運動に努力します。」と元気いっぱい宣言しました。家庭、地域、学校が協力し合い、子供たちがこころ豊かな人として成長し、きらきらと輝いたひとみを大切に充実した中学校生活を送ってほしいと思います。

## 小学校入学式

さくら草のピンク、パンジーの紫、多くの花で彩られた体育館の中、真新しい服に身をつつみ、これから始まる小学校生活に期待を膨らませながら、先生に誘導されて二十名の新入生が入場。学校長（野口信也校長）から「みんなでこころ待ちにしてみました。すす

んであいさつをする。交通安全にこころがける。この二つを守って、明日から元氣よく学校に来てください。」と式辞。在校生からのお祝いでは、「今日から、江府小学校の仲間です。みなさんの入学を楽しみに待っていました。笑顔いっぱいの学校にしていましょよう。」と「さんぽ」の歌を身振り手振りで歌いながら歓迎しました。式終了後、登校班の確認をし、その後緊張した顔で集合写真をとりました。



みんなの前で整列



すました顔やちょっと油断した顔



いっぱいの花につつまれ入場

# 江府小学校\*新入生の紹介

この春入学の小学1年生20人を紹介します。  
1年生になってがんばりたいことを聞きました。

さんすうのべんきょう  
をがんばります。



かとう はるな

うんどうかいをがんば  
りたいです。



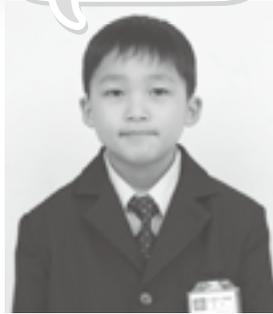
かとう たかひろ

ともだちがたくさん  
ほしい。



むらかみ しおん

てつほうをがんばります。



やまさき こうめい

べんきょうをがんばり  
ます。



むらかみ りゅうき

こくごをがんばります。



こたに かなと

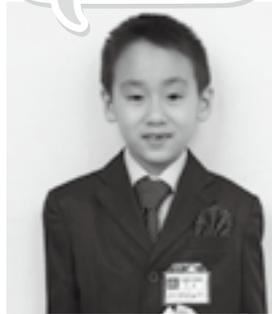
いちりんしゃに  
のれるようになり  
たいです。



さいか なつき やすだ あいな

うんていをがん  
ばりたいです。

うんていができるよ  
うにがんばってなり  
たいです。



ふじはら しゅうた

かんじのべんきょうを  
がんばりたいです。



やまもと こたろう

としうえのひとのい  
うことをきいてがんば  
りたいです



いいだ けんいち

およげるようになり  
たい。



おおいわ みお

およげるようになり  
たい。



おおいわ みく

いちりんしゃにのれるよ  
うになりたいです。



なかお かずま

べんきょうをがんばり  
たいです。



とくおか えいじゅ

けんどうをがんばり  
たいです。



かわかみ おうが

いちりんしゃにはやくの  
りたいたいです。あり  
ようりができるように  
がんばります。



はやし みるく

まちにまったいちねん  
せいで。なんでもちや  
れんじ。なんでもが  
んばるぞ。



きっかわ けいた

うんどうかいとべん  
きょうをがんばり  
ます。



うらべ つばさ

べんきょうをがんばり  
ます。



もりたに みさき

## 町民のみなさんが笑顔、元気になっていただくことを目的とした 平成二十四年度のにこにこ事業を紹介。

### ■にこにこホームページ参画事業

町民の方に江府町のホームページへの関心を持っていただくため、江府町ホームページのデザインを募集。応募作品の中から選出し、毎月一回デザインを変更します。  
(総務課)

### ■奥大山で儲けよう事業

江府町の産業活性化とPRを図るため、行楽シーズン中、鍵掛峠・エバーランド周辺において町内産の野産物・加工品などの出店事業者(七店程度)を募集し、出店経費の助成をします。  
(企画政策課)

### ■行政機関見学ツアー事業

未来を担う子供たちの将来に活かせる経験の場とするため、夏休み期間中の小学校六年生の希望者を対象に、国の行政機関を見学するツアーを行います。  
(町民生活課)

### ■吉本興業落語会開催事業

吉本興業は、平成二十三年から

全国各地に芸人を住まわせて、地方を盛り上げる事業をおこなっています。これを活用し、笑いにより町全体がにこにこ元気になる落語会を開催します。  
(農林課・産業振興課)

### ■漏水調査おまかせ隊事業

修繕箇所を早期発見することで住人の負担を少なくするとともに、効率のよい水道管理を図るため、漏水調査おまかせ隊による漏水調査を引き続き実施します。  
(建設課)

### ■初めての買い物事業

保育園児が自分でお金を使用し買い物を通して、店の人とのやり取りや生きる力と社会生活への適応力を養います。  
(教育委員会)

### ■芸術ふれあい事業

人形劇の観覧による感動や親子のふれあい体験などの情緒教育を

通して、幼児の感性を深めます。  
(子供の国保育園)

### ■なわとび教室事業

日本ロープスキッピング連盟からなわとびのインストラクターとパフォーマーを呼び、実技講習を受けることで運動技術と体力の向上を図ります。  
(江府小学校)

### ■人権ライブ招致事業

人権コンサートを開催し、歌を通して命の大切さや他人への思いやりを育てます。  
(江府中学校)

### ■いどばたグループ支援事業

高齢者は、社会的交流や外出頻度が少なくなりがちであり、身近な集落や小グループによる自主的な活動支援が必要です。このため、「ほっとサロン」事業と連携して、継続して自主的に集まるグループを対象に助成をします。  
(福祉保健課)



H23.「行政機関見学ツアー」事業風景



H23.「エバーランド奥大山で儲けよう」事業の風景





# 国道482号下蚊屋バイパス全線開通

4月15日、国道482号下蚊屋バイパスの供用開始式が開かれ、平井伸治鳥取県知事、赤澤亮正衆議院議員、湯原俊二衆議院議員、川上義博参議院議員をはじめとする来賓の方々、地元下蚊屋集落のみなさんら総勢70名が出席。セレモニーのテープカットとくす玉開き、アトラクションとして明神社による神楽が披露されるなど盛大に全線供用開始を祝いました。



式典ではまず、主催者である竹内町長があいさつ。「今日の日を迎えるまでに、地元国会議員の方々や鳥取県の皆さまのご尽力を賜りました。地元下蚊屋集落の強い要望で、国道昇格に加え、平成六年度からバイパス化事業がスタートし、Ⅱ期工事については公共工事の再評価など紆余曲折があったものの評価委員会では事業継続の英断を頂きここに完成しました。改めてお礼を申し上げます」と関係者への感謝の意を表しました。

来賓の方々からの祝辞では平井伸治鳥取県知事が「本日ここに下蚊屋バイパスが全線開通の運びとなりました。お祝いというよりもむしろ私から感謝の気持ちを述べさせていただきたいと思います。バイパスの開通は地元下蚊屋の皆さんのご尽力と協力のたまもの、そして近年の豪雪にも阻まれ工事も大変難航する中、受注業者皆さんの昼夜問わずの施工に感謝しています。往年を考えると下蚊屋は後醍醐天皇が「ここは高地で蚊が来ないから蚊帳を下げてよい」と言われたとの言い伝えもあり、ここは当時、日本を変えようとした一行が通りかかった地であることは間違いありませんし、子どもの通学のために人力でトンネル掘ら



れた歴史や、近年では佐々木会長をはじめとする皆さんが古道を復活されるなど道を拓くということにまつわる出来事が多い地でもあります。この道もこれから多くの方に活用していただき、地域の発展を作り上げていただきたいものです。」と述べました。

式典に引き続き行なわれた開通セレモニーは、テープカット式と下蚊屋の子どもたちによるくす玉開き。ここでは、下蚊屋区長の各務裕之さんが、アトラクション出演のための神楽の衣装でさつそうと登場。会場内から拍手が起りました。各務さん扮する『猿田彦命』は、天孫降臨の際に邇邇芸命（ににぎのみこと）をご案内しようとする途中でお待ちしていたことから道案内の神、旅人の神と考えられています。道の神によるテープカットは、これからのバイパスの安全と、沿線住民の生活利便性の向上、観光や物流地域の繁栄に結びつくことでしょう。

## 平成二十四年度区長会

四月二十四日、山村開発センターで四十区長を迎えて、平成二十四年度の区長会が開催されました。開会にあたり、竹内町長は、「人口規模は県下で一番少ないが、元気で明るい輝きのあるまちづくりのために、今後も集落のとりまとめ、行政のパイプ役として、ご協力いただきたい。」とあいさつ。続いて、宮本副町長から町予算の概要と財政状況説明、各課からの主要施策説明が行われました。また各集落との意見交換会では、「行政からの情報提供のあり方」について質疑があり、終了後は、個別相談会が活発に行われました。



質問をする区長



個別相談会の様子

## みちくさ推進会議研修会 総会

四月十六日、防災・情報センターで、第十回みちくさ推進会議総会が開催されました。竹内町長、日野農業改良普及所長など関係者を迎えて開催。総会では、平成二十四年度の事業計画やイベントについて活発な意見交換がおこなわれ、研修会では、前アスパル江府支部長の山本喜和さんから農薬使用に關しての注意喚起が、またタキイ種苗株式会社から、夏の主力品目である、トマト・きゅうりの栽培や整枝方法について講習があり、会員は、熱心に耳を傾けていました。

みちくさ開設十周年  
イベント開催

■日時 五月二十日(日)  
午前九時～午後五時

来場者には、先着百名さまに紅白餅配布、あんこ餅・草餅を販売します。数量に限りがありますので、お早めにご来場ください。

問い合わせ 佐川「みちくさ」  
☎(七五)二〇三三

## 春の全国交通安全運動

ゆずり合う ゆとりと笑顔 防ぐ事故

四月六日から十五日までの十日間、町内の各所で春の交通安全運動が行われました。この運動は、新入学児童などに、基本的な交通ルールとマナーを習慣づけることを目的として、交通安全を全国一斉に呼びかけるものです。

### 〈運動の重点〉

- ・ 子供と高齢者の交通事故防止
- ・ 自転車の安全利用の推進
- ・ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・ 飲酒運転の根絶

左右を確認して  
渡る児童たち



問い合わせ先 町民生活課  
☎(七五)三二二三



ドライバーに事故ゼロを呼び掛ける

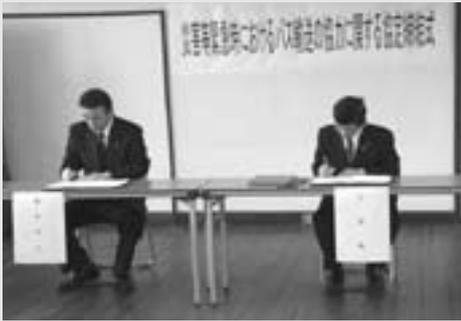


## 県内初となる災害等緊急時におけるバス輸送の協力に関する協定書の調印式

江府町と株式会社チロル（川上和人代表取締役）は、五月一日、災害等緊急時におけるバス輸送における協力の調印式を行いました。竹内町長は、「土砂災害防止法にかかる急峻な地域が多く、また、島根原発の事故も想定に考えなければなりません。このような中、住民の安全・安心に暮らしを守るために、災害等緊急時にバス輸送の協力をさせていただくことになりました。」とあいさつ。川上代表取締役は、「高齢化率四十%、核家族、独居老人が増えている江府町において、有事の際、安心な場所に避難させることが、私たちに課せられた使命であり、今後課せられた責務を果たしたいと思えます。」とあいさつ。今後、自然災害などにより住民の生命、身体及び財産に重大な被害をもたらす緊急事態が発生した場合、江府町の要請に関し、バス輸送の協力を行的ていくこととなります。



協定書をもつ竹内町長と川上代表取締役



## 青い空、輝く緑、薫る風

～日野川美化推進事業「こいのぼり」～

日野川の美化推進と、子どもたちの健やかな成長を願って始まったこの行事、すっかり江府町の春の風物詩となりました。今年も、愛漁会のみなさん、役員職員のボランティアに加え、町民ボランティアの方々も加わっていただき、作業を通じて交流も深まりました。町の元気は人の元気から。豊かな自然と季節の行事を次世代に継承していくことも、元気の源の一つかもしれません。



久連橋に掲揚されたこいのぼり

## 新入消防団員の紹介

江府町消防団第一分団の新入団員辞令交付が五月一日にありました。これから訓練を重ね住民の生命・財産を守るために活躍されます。



神庭 信吾団員  
H24. 5. 1付

## 町民有志による直接請求

四月二十五日、町民の有志六人から選挙管理委員会委員長に対し、町議会の解散請求のため請求代表者証明書の交付申請がありました。直接請求の内容は、次のとおりです。

### ○江府町議会解散請求

請求要旨（抜粋） 議会議員の解散により、平成二十四年七月の町長選挙と同日とすることで、費用の削減とし、財政再建の一助とする。

※直接請求とは、地方公共団体の住民が直接、条例の制定・改廃および首長や議員の解職、議会の解散などを請求すること。

## 麻疹風しん(MR)の 予防接種を受けましょう

○麻疹(はしか)や風しんとは  
麻疹はウイルスに感染した後、約10～12日間を経て、熱・せき・鼻水などの症状が始めます。数日すると、首筋・顔から赤い発疹がではじめ、三十八～三十九度台の熱が一週間から十日間程度続くことがあります。肺炎や脳炎を引き起こすこともあり、重症化すると命の危険もあります。風しんは発熱と全身に淡い発疹が出る感染症です。症状は麻疹より軽いのですが、妊婦さんが初期にかかるとおなかの赤ちゃんにも影響します。

### ○対象者

- 一期対象者 一歳
- 二期対象者 保育園の年長児
- 三期対象者 中学一年生

## 五月は赤十字社員 増強月間です

日本赤十字社では、毎年五月を「赤十字運動月間」と定め、広報活動を通して、皆様に赤十字の理念や活動に賛同いただき、一人でも多くの方々に「社員」になっただくよう、社資(活動資金)を広く募集する強化月間としています。

江府町でも、区長さんや行政連絡員さんを「日本赤十字社鳥取県支部協賛委員」に委嘱し、社資の拠出をお願いしておりますので、ご協力をお願いします。

集まった社資は日本赤十字社に集められ、災害救護活動など日本赤十字社の人道的活動に使います。昨年ご協力いただきました社資は五十二万四千九百円でした。

「人間を救うのは人間だ」と合言葉に、これからも活動を続けていきます。日本赤十字社にご協力をお願いします。

## 新しい身体障害者 相談員が決まりました

江府町身体障害者相談員に岡本美代子さん(新一)が決まりました。町から業務の委託を受けた相談員が、障害者や家族の相談に応じ、関係機関との連携を行います。年に数回、相談日を設けて、相談会を開催する予定です。

(委託期間 平成二十四年四月一日から平成二十五年三月三十一日)



岡本美代子さん(新一)

## 平成二十四年度から 不妊治療費の助成を おこないます

医療保険が適用されない高額な妊娠治療費の負担を軽減するための制度です。

○対象 夫もしくは妻のいずれか一方またはその両方が一年以上継続して江府町に住所を有しており、鳥取県不妊治療費助成金の交付の決定を受けた方。

### ○助成額

一回につき、上限五万円  
(一年度は年三回、二年度以降は年二回を通算五年度まで。ただし、通算十回を超えない。)

鳥取県不妊治療費助成金交付事業とは、特定不妊治療と人工授精に要する経費を助成し、経済的負担の軽減を図ることを目的としています。特定不妊治療では一回につき上限十七万五千元(一年度目は年三回まで、二年度目以降年二回を限度に通算五年度まで(ただし通算十回を超えない)、人工授精では要した費用の二分の一(一年度あたり上限十万円を通算二年度まで)を助成します。詳しくは西部総合事務所福祉保健局(〇八五九一三一―九三二八)にお問い合わせください。

## 健康推進委員会を開催 『認知症』講演

四月二十九日、防災・情報センターで健康推進委員会が開催されました。委嘱状交付後、福祉保健課が行っている「健康づくり事業」の紹介と活用について担当者が説明。その後今年度から新たに始める鳥取大学医学部脳神経内科と連携した認知症対策事業に関して、和田健二講師から「認知症」について講演いただきました。「高齢化が進む日本にとって、認知症とは健やかに老いるためにかかせないテーマであること、また認知症は早く治療に結びつけることが重要であること」を説明されました。認知症の早期発見・早期治療の対策の充実に努めるとともに、認知症であっても住み慣れた江府町でいきいきと暮らせるまちづくりに取り組んでいきたいものです。



**児童扶養手当  
特別児童扶養手当等の  
支給額改定のお知らせ**

○児童扶養手当

十八歳までのお子さんを養育しているひとり親家庭の生活の安定と児童の心身の健やかな成長のため支給される手当です。

○特別障害者手当

重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする二十歳以上の在宅の方に支給されます。

○障害児福祉手当

重度の障がいがあり、日常生活に常時特別の介護を必要とする二十歳未満の在宅の方に支給されます。

○特別児童扶養手当

二十歳未満で精神または身体に一定の障がいがある児童を養育している方。

物価の変動に応じて手当で額が変更されます。平成二十四年度の手当て額は、全国消費者物価指数の下落分にあわせて下記のとおり改正されます。

問い合わせ先 福祉保健課

☎(七五)六一一一

(1か月当たり)

手当の名称		平成24年3月まで	平成24年4月から
児童扶養手当	全額支給	41,550円	41,430円
	一部支給	41,540～9,810円	41,420～9,780円
特別児童扶養手当	1級	50,550円	50,400円
	2級	33,670円	33,570円
特別障害者手当		26,340円	26,260円
障害児福祉手当		14,330円	14,280円

**食改おすすめ**

**チャレンジクッキング**

**(5月)**

平成13年から5年間続けていたこのチャレンジクッキングが今年復活することになりました。今年、食改の学習会や自分たちで考えた創作料理などから「季節の野菜」を使ったご家庭で簡単にできる手作り料理をご紹介します。ぜひ皆様も、料理にチャレンジしていただき感想など、地域の食生活改善推進員にお伝えいただければ幸いです。

江府町食生活改善推進協議会 会長 谷口歌子

**ネギとアスパラのベーコン巻き**

**材料 (4人分)**

しろねぎ.....2本                      アスパラ.....4本  
 ベーコン.....8枚                      塩.....1g  
 こしょう.....少々                      サラダ油.....大さじ1  
 トマトケチャップ...大さじ2

**作り方**

- ① アスパラは5cm長さに切り茹でておく。
- ② ねぎは5cmのぶつ切りにし、中心にむかって1か所切りこみを入れておく。
- ③ ねぎの切りこみの中にアスパラをはさみ全体をベーコンで巻き、爪楊枝でさしてベーコンを固定する。
- ④ フライパンに油をいれ③を焦げ目がつくまで焼く。
- ⑤ 最後にトマトケチャップを加えて味をからめる。



1人分 エネルギー：146kcal  
 蛋白質：4.6g、塩分0.9g

頁三十一名が

# 明德学園へ入学



では見られないほどの充実した学習環境が積み重ねられ、健康はもちろん豊かで活力ある生活を送るための生きがいづくりはもとより情報の交換や連帯意識の熟成に大きな力になります。

この一年間、一般教養、専門課程を通して、社会生活を営む上で、必要な知識や技術についての学習、趣味、教養など生きがいとしての学習を深められ、また、仲間づくりを通じて技術、技能の修練、学生自治会活動などを楽しみながら「チャレンジ精神」でいつまでも学習してください。」と式辞が述べられました。

四月二十六日、山村開発センターで平成二十四年度の「明德学園」の入学式が行われました。

今年度の「明德学園」入学者数は、普通科十六名、高等科三十三名、研究科八十二名で合計百三十一名となりました。

明德学園は、普通科、高等科、研究科からなり、一般教養と専門課程で学習を深めます。

入学式で、竹内理事長（江府町長）から、「明德学園は他の地域

## 平成24年度開催予定

5月18日	10月18日
6月21日	11月15日
7月19日	12月20日
8月23日	1月17日
9月20日	2月21日

・午前中一般教養・午後専門課程です。  
 ・専門課程(花木園芸・華道・書道・茶道・料理・陶芸・手工芸・パソコン・囲碁・水墨画・グラウンドゴルフ)

# 日野郡男女共同参画連絡会総会

未来へ向かってもう一歩  
自分から踏みだそう みんなでつながろう



青葉そよぐ好季節、四月二十七日、日野町山村開発センターにおいて、今年度の総会が開催され江府町からも十三名が出席しました。

冒頭、山田礼子会長から地域づくりは我が事として行動を起こす、その原動力は対話の中からお互いが共感できることを積み上げて身近な問題への気づきを生むことから始まる。日野郡男女共同参画連絡会の活動の灯を消してはならないという会員の声を大切に受け止めて、男性と女性の協働の姿の素晴らしさと楽しさが未来へ向かって力強く踏み出す一歩になると信じている。と開会挨拶がありました。

議案審議承認の後、鳥取県男女



共同参画センター西部相談室相談員 服部久美子さんが「もう一歩踏み出せないあなたへ」と題して講演があり、講演の中で服部さんは、「まず自分を認めること、好きになること、良いところを話せること、そして次にそこから他人を好きになり、お互いにつながることも出来る。」と、男女はもちろん人として大切なことを話されました。

参加者同士のワークシヨップでは、どの班でも講師の呼びかけに「自分達ができることから活動の輪を広げよう」と前向きな話で盛り上がりました。

## 人権コーナー

### 和い輪いひろば⑳

ほんとうに大事なことは、実はとてもシンプルなのだと改めて考えさせられ、教えられた、今月のおたより。

一人一人の心の持ちようが世代を超え、声を掛け合うことで、そして語り合う中で支えあい生まれるはず。大人の側がもっと努力しなければなりません。子供たちが安心して未来へ向かって努力できるような環境づくりに、さらに協力しようではありませんか。

### あいさつうんどう

図書館のロビーの掲示板で素晴らしいものを見ました。それは江府小PTAが作られたポスターです。次のように書かれていました。

#### 江府小 あいさつうんどう

- ・朝はまず、家族で「おはよう」
- ・出会った人には「こんにちは」
- ・お世話になったら「ありがとう」

あいさつはきちんとしよう 家庭から  
2年 梅田理佐

というものでした。PTAが作成されたことに大切な意味があると思います。

自分たちの子どもは家庭でしっかり躰しっかをしようとしてされていることに改めて心が動かされました。よく青少年健全育成でも見られるポスターですが、それだけではありません。

明るく声を掛け合うことにより、素直な気持ち、謙虚な気持ちで、相手を思いやる優しい心が育っていくからです。躰しっかのできた子どもは自ら幸せを掴つかんでいく力を持っていると長い人生経験で確信するようになりました。

相手の気持ちが分かる子どもって何と素晴らしいでしょう。大人はそう云う気持ちを忘れてはいませんか？ そういう私も忘れかけることはありますが時々思い出しています。

親が家庭において子どもの躰しっかをすることで、子どもは生きていく上での正しい価値観を持つことになります。

数年前、人権・同和教育の研修で、ある大学の先生の話に、人権教育をおし進めるためには、これからもっともっと力を入れていかななくてはならないことがある。それは、家庭教育だと話されたことを、ポスターを見て思い出しました。

今、大人こそ、「あいさつうんどう」が大切なのではないのでしょうか？心からのあいさつ運動が…

ペンネーム 気分だけが若い？おじいさん

…このコーナーでは、みなさんからの投稿をお待ちしています。教育委員会人権同和对策室までお寄せください。

# 学校お助け隊だより

平成二十四年度が始まり、ひと月がたちました。一年生も新しい学校にも慣れ、充実した学校生活を送っています。四月にボランティアを募集した下校支援には、十六名の方が、十三日間にわたってご協力くださいました。四月とは言え、肌寒かったり、逆に汗ばむ日もあったりして大変だったと思います。ボランティアのみなさんの見守りのおかげで、事故などもなく、子ども達も安全に下校することができました。ありがとうございます。



「手を上げて、おうどん！」

下校支援は、五月以降も実施します。本年度は、一年生

が早く下校する金曜日に加えて、全校が集団下校をする水曜日にも実施することになりました。今年度は、六年生が十名と少なく、五年生以下の子ども達が班長になって、登下校している班も多くあります。通学班の安全な下校も見守っていただくよう、水曜日でも下校支援をお願いしているところです。七月までの長丁場ですので、多くの方のご協力をお願いいたします。期日や時間帯など詳しくは、四月末に区長さんを通じて配布されたチラシをご覧ください。

学校お助け隊では、ほかに五月に開かれる江府小学校の運動会に合わせて、校庭の除草作業を手伝って下さるボランティアを募集しています。子ども達と一緒に作業に取り組んで頂ける方がありましたら、ご連絡ください。みなさんのご協力をお願いします。

## 【お問い合わせ先】

学校支援地域本部事務局

☎(七五) 二二二三

## 保・小・中連携だより

# スクールソーシャルワーカーを配置します

学校への不適応、学力不振、いじめなど、子ども達を取り巻く問題は、社会の変化と共に深刻になってきています。様々なことが複雑に絡み合うような問題に対して、学校だけでは対応しきれないケースも増えてきています。鳥取県では、それらの対応の一つとして、先生方にアドバイスをしたり、子ども達や保護者の方の悩みを聞いたり相談相手になっていただくスクールカウンセラーを配置しています。江府町でも、中学校や小学校に来ていただいて、様々な相談のつてもらっています。

スクールカウンセラーが、本人に寄り添い、課題解決に向かうのに対し、スクールソーシャルワーカーは、「福祉」の視点を加え、本人だけでなく周りの環境にも働きかけて解決に向かうところに特徴があります。解決のためには、関係機関に働きかける必要がある場合もあります。関係機関を「つながり」役割もスクールソーシャルワーカーは担っています。

問題解決だけでなく、未然防止も含めた取り組みを進めていただくために、今年度より江府町にもスクールソーシャルワーカーを配置しました。

すべての江府の子ども達が保・小・中を通して健やかに学ぶことのできる環境づくりに向け、今までの以上に力を入れて取り組んでいきたいと思っています。



野口裕子先生

昨年の三月まで江府小に勤務していましたが、今年度スクールソーシャルワーカーとしてお世話になることになりました。ふるさとに帰ったような気分です。子ども達と直接関わることはあまりありませんが、子ども達の問題を解決するために色々な機関や人をつなぐ仕事をします。よろしくお願いします。

## スクールソーシャルワーカーの紹介

はじめまして。江府町の児童生徒の皆さんに関わる様々な支援のために、学校の先生方やその他支援者の方と連携しながら活動していきます。初めて江府町に勤務しましたので、地域のことも勉強したいと思っています。よろしくお願いします。



坪倉八重美先生

# 江府中学校の建設準備経過について

老朽化の進む江府中学校建設準備について、現在の経過をみなさんへ報告します。

## 江府中学校あり方検討委員会・答申

町では、平成二十二年九月に「校舎は築五十年を経過している。立地場所も交通事情や発破の爆発音、日当たりなど、決してよい状況にあるとはいえない。校舎の移転、新築が望ましい。なお、移転にあたっては、今後、重要視されてくる保・小・中の連携を視野に入れ、小・中学校スクールゾーンとし、登下校の際、校門前でバスの乗降が可能な場所を選定されたい。」との答申を受けました。

## 中学校建設検討委員会

「江府中学校あり方検討委員会」の答申を受けて、町では「中学校建設検討委員会」を立ち上げ、次の五つの案について検討を行いました。

- ① 廃校となった小学校を利用する
- ② まったく別の場所に新築する
- ③ 江府小学校に隣接する
- ④ 既存施設敷地内に新築する
- ⑤ 総合運動公園地内に校舎を新築する

三回行った委員会では、①から③については解決すべき課題が大きく、実現が困難であり、

④「現在地に建て替える」

⑤「総合運動公園地内に校舎のみを建てる」

この二つの案が有力であるという意見に至りました。

## 江府町議会庁舎等調査特別検討委員会へ検討内容を説明

「中学校建設検討委員会」は、平成二十三年九月の江府町議会定例会の「庁舎等調査特別委員会」で先の五つの案について説明し、「現在地に建て替える」及び「総合運動公園地内に校舎のみを建てる」二つの案で概算経費等を検討することとなりました。

## 建設の概算経費等についての検討

引き続き、「中学校建設検討委員会」では、この二つの案の概算経費等について検討し、平成二十四年三月の江府町議会定例会の「庁舎等調査特別委員会」で説明を行いました。

立地条件、既存施設の有効利用など経済的、財政的見地から「総合運動公園地内に校舎のみを建てる」案が注目され、その結果、現在、中学校建設候補地は、「総合運動公園地内に校舎のみを建てる」が有力となっております。



中学校建設候補地（江府町総合運動公園地内）

## カイル先生のほのぼのコラム②⑩

Hi everybody,

How are you? Are you enjoying this weather? I love it! I can't stand the cold and it feels great to get back outside.

I'm going back to America for Golden Week to fill out paperwork for a place to live and for a job. My plan is to be a substitute teacher for a while before looking for a full-time teaching job in a high school.

I'm a little nervous about my flight. I always worry I will forget my passport or something. When I get back, I will have only three more months left in Japan. It will be nice to be back in America but I'm starting to feel a little sad about leaving Japan. I'm sure I'll be back someday.

Kyle

みなさん、こんにちは。

おげんきですか？このところの暖かな天候を楽しんでいますか？私はこういう暖かな天候が大好きです。寒さは耐えられないですし、また外に出て活動できることがすごくうれしいですね。

ゴールデン・ウィークにアメリカに帰って来ます。それは、アメリカで仕事をさがしたり住む場所を見つけたりするために書類を出さなければならないからです。アメリカでは常勤の高校の教師の仕事を見つけないのですが、仕事が見つかるまでのしばらくの間は、代員の教員として働こうと思っています。

実は、飛行機に乗る時には、いつも少し神経質になってしまいます。それは、パスポートや何かを忘れるのではないかと考えてしまうからです。ゴールデン・ウィークの時にアメリカに行って帰って来ると、そのわずか三ヶ月後には日本を旅立つこととなります。アメリカに帰れるのはうれしいですが、日本を離れることが少しずつ寂しいと感じるようになってきています。でも、いつか帰って来ようとは思っています。

カイル

# 江府町\*青年団

活動再開



正月マラソン継走の部優勝！

江府町青年団は毎月、町を盛り上げること为目标に活動中！再始動から半年間の活動内容をご紹介します。

## 【十一月／江府町文化祭】

町内の達人の指導のもと、手作りカレー店を出店。宣伝とともに前売りで食券を販売したところ、辛口・甘口合わせて百件以上の売上が！久しぶりの青年団の活動ということで、激励の言葉をかけてもらうこともありました。

初めての活動、慣れない行事参加に右往左往しながらでしたが、町民の皆さんに応援していただき、盛況となりました。この文化祭での活動を機に、青年団として本格的に活動することを決意しました。



慣れない手つきでカレーを運ぶ団員

## 【十二月／青年サンタ】

サンタに扮した青年団員が、申込のあった家を訪ね、子どもたちにプレゼントを手渡しました。「サンタさんって本当にいるんだ！」と子どもたちは大喜び。ご家族の皆さんにも大変喜ばれました。子どもに夢を与える活動をしたことに、団員の満足感もひとしお。



サンタに扮した団長が子どもたちにプレゼント

## 【二月／新春マラソン】

青年団で二チームを結成し、継走の部に出場。そろって優勝・準優勝を獲得しました。

## 【二月／お助け隊派遣 ボランティア】

高齢者のみで暮らしているお宅を対象に、お助け隊を結成。詳細はトップ記事へ！

## 【三月／雪上バレー／ 全国青年問題研究会】

「大山ぶなの森クラブ」の主催

行事・雪上バレーに出場。スポーツを通して色々な方と交流しました。全国青年問題研究会に参加し、全国の他青年団と交流、意見交換を行いました。活発に活動している団あり、同じような悩みを抱えた団あり、得るものが多い研究会でした。

## 【四月／お花見会】

お花見会を開催。詳細はトップ記事へ！

# 青年団員募集！

青年団の活動目的は、若い力で地元を元気にすること！町を盛り上げるために、自分たちで企画を考えて活動中。まずは気軽に、青年団の企画に参加してみてください。

### 【入団資格】

出身・在住・在勤など、江府町に関わっている18歳以上の方

### 【入団方法】

事務局へご連絡いただくか、毎月の定例会へ直接お越しください

### 【青年団定例会】

毎月第3木曜日、夜8時～  
防災・情報センターにて

江府町教育委員会事務局 ☎ (75) 2005

# 農業委員会はこんな仕事をしています

## 1 優良農地の確保と有効利用

- 農地法にもとづく許認可
- 遊休農地の解消
- 農地基本台帳による情報等の一元管理



●地域の土地利用の合意形成

●農地バトロール 無断転用防止 遊休農地の解消など



●農地情報の電子化・地図情報化

## 4 農業委員は、地域の世話役、農家の相談相手

## 2 認定農業者等への農地の利用集積、経営改善の支援



農地の利用集積・経営改善の支援



ここはこうやって... なるほど!

簿記記録 黄色申告

## 5 農業者年金制度の普及と定着

## 3 農業者の声を積み上げた意見などを行政へ提言

行政への建議 ← 意見の積み上げ



認定農業者や集落営農組織と農業委員との意見交換会

## 6 農業・農業者に関する情報提供

- 全国農業新聞
- 全国農業図書
- 農業委員会だより



(全国農業会議所発行 農業委員会制度のあらましより抜粋)

### 農業委員会総会 (4月)

審議案件はすべて承認されました。

農用地利用権設定	9件
非農地証明	3件
農地法3条申請	1件
平成24年度農業委員会事業計画	

### 農業者年金友の会

平成24年度から農業者年金友の会が新しい組織となり、事務局がJAから農業委員会へ移ります。そのため設立総会を下記のとおり開催します。

1. 日時 平成24年5月30日(水) 午後1時30分から
2. 場所 江府町防災・情報センター

### 5月の農地相談会

お気軽にご相談ください。

◎相談日 平成24年5月31日(木) 午後1時30分から

◎場所 山村開発センター

### あとがき

やっと春。春は生命力に満ちた青年のような季節でもあります。農家の皆様、体も適度に動かし、ゆっくりと春に浸っていきましょう。年々農業を取巻く環境が厳しくなっている昨今、我々農業委員会活動が皆様の日頃の活動の一助となりますよう今後も努めてまいります。ご意見、ご要望などお寄せいただければ幸いです。

問い合わせ先 農業委員会事務局 ☎ (75) 3222

### 西部医師会健康講座

身近な病気について、診察室ではなかなか聞けない耳寄りな話が聞けます。

#### 「脳のおはなし」

- 日時 5月17日(木)  
14:00～15:30
- 場所 米子市文化ホール  
イベントホール
- 講師 あだち脳神経外科クリニック  
足立 久先生
- 入場料 無料
- 【問い合わせ】  
鳥取県西部医師会  
☎ 0859 (34) 6251

### 美保基地航空祭開催

- 日時 5月27日(日)  
9:00～15:00
- 場所 航空自衛隊  
美保基地内(境港市)
- 内容 航空機地上展示  
航空機展示飛行
- その他 駐車場に限りがありますので、公共機関をご利用ください。都合により、今年のブルーインパルスの地上及び飛行展示はありません。
- 【問い合わせ】  
航空自衛隊美保基地  
渉外室広報班 ☎ (45) 0211

### 鳥取県の最低賃金

この最低賃金は、最低賃金法に基づいて決定されたものです。鳥取県内では、これより低い賃金で労働者を使用することは出来ません。

#### 〈鳥取県最低賃金〉

**1時間 646円**

- 【問い合わせ】  
鳥取労働基準監督署  
☎ 0859 (34) 2231

### 鳥取県行政書士会無料相談

相続・遺言・成年後見・悪徳商法被害・交通事故など、行政書士が無料で相談に応じます。予約不要。

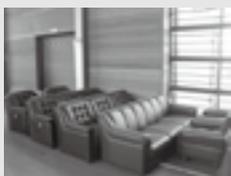
- 日時 6月9日(土)  
10:00～14:00
- 場所 イオン米子駅前店4階  
男女共同参画センター会議室

- 【問い合わせ】  
鳥取県行政書士会事務局  
☎ 0857 (24) 2744

### ぴくあっぷ 集落に無償でお譲りします

旧米原分校などの机・椅子・ソファー・キャビネットなどを無償で集落にお譲りします。希望者多数の場合は、抽選となります。

- 期日 平成24年5月27日(日) 午前10時 集合
- 場所 旧米原分校体育館



ソファーなど

※個人への譲渡はしません。運搬などについては集落でお願いします。

- 【問い合わせ先】役場総務課 ☎ (75) 2211

## 新着図書案内



### ♪江府町立図書館♪開館時間

- 平日 8:30～19:00
- 土日祝 8:45～17:30
- ☎ (75) 2005

#### \*文学

- 言語小説集/井上ひさし
- マンボウ最後の家族旅行/北杜夫
- 叔母さん応援団/曾野綾子
- コレキヨの恋文/三橋貴明
- 少女は卒業しない/朝井リョウ
- 舟を編む/三浦しをん
- 心霊探偵八雲(9)/神永学



#### \*哲学

- 水木しげるの古代出雲/水木しげる
- ブタのみどころ/小泉吉宏

#### \*家庭生活

- ラッピングの基本レッスン/宮田宏会

#### \*技術

- 放射能と原発のこれから/武田邦彦

## こどもの読書週間

4/23(月)～5/12(土)

子どもたちにもっと本を…との願いから誕生した「こどもの読書週間」。幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、物事を正しく判断する力をつけておくことが、子どもたちにとってどんなに大切なことか…。子どもに読書を勧めるだけでなく、おとなも一緒に読書をし、こどもの読書の大切さを考える、それが「こどもの読書週間」です。江府町立図書館では、今年の標語に合わせたオススメ図書を展示中！ぜひご利用ください。

### 2012年 標語

〈君と未来をつなぐ本〉

おすすめ



#### 『舟を編む』三浦しをん

主人公は出版社勤務。営業部では変人として持て余されていたが、辞書編集部に迎えられる。新しい辞書を編むことに…。2012年本屋大賞受賞作。

5月 MAY

# 行事カレンダー

6月 JUNE

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
	14 月			
	15 火			
	16 水			
	17 木	補聴器修理相談会 (トニシン米子補聴器センター) もの忘れ外来	総合健康福祉センター 江尾診療所	13:00~15:00 受付 13:00~16:00
	18 金	明德学園	防災・情報センター	9:30~16:00
	19 土	江府小学校運動会	江府小学校	9:00~15:00
	20 日			
	21 月	公民館講座 (大正琴) 公民館講座 (墨彩画) 町職域グループ対抗レクリエーション(ソフトボール)大会	防災・情報センター 防災・情報センター 運動公園総合グラウンド	10:00~12:00 13:30~15:30 開会式18:30~
	22 火	ポリオ集団予防接種 公民館講座 (パッチワーク)	総合健康福祉センター 防災・情報センター	受付 14:00~14:30 13:30~15:30
	23 水	補聴器修理相談会 (中国補聴器センター) 公民館講座 (樹脂粘土)	総合健康福祉センター 防災・情報センター	9:30~11:30 13:30~15:30
	24 木	もの忘れ外来 公民館講座 (ヒップホップ)	江尾診療所 防災・情報センター	受付 13:00~16:00 19:00~20:30
	25 金			
	26 土	公民館講座 (ガラスアート) 公民館講座 (和紙折り紙)	防災・情報センター 防災・情報センター	10:00~12:00 13:30~15:30
	27 日			
	28 月			
	29 火			
	30 水	農業者年金友の会	防災・情報センター	13:30~15:00
	31 木	5歳児健診 (年長児) 農地相談会 公民館講座 (フラダンス)	子供の国保育園 山村開発センター 防災・情報センター	受付12:30~ 13:30~15:00 14:00~15:30

日曜日	曜日	行事名	場所	時間
	1 金	5歳児健診 (年長児) 人権相談所	子供の国保育園 防災・情報センター	受付12:30~ 9:00~12:00
	2 土			
	3 日			
	4 月	公民館講座 (大正琴)	防災・情報センター	10:00~12:00
	5 火			
	6 水	狂犬病予防接種注射集団接種 公民館講座 (押し花)	総合健康福祉センター 防災・情報センター	13:10~13:30 9:30~17:00
	7 木	もの忘れ外来	江尾診療所	受付 13:00~16:00
	8 金	ぼちぼち倶楽部 公民館講座 (いけばな)	総合健康福祉センター 防災・情報センター	13:30~15:30 19:00~20:30
	9 土	とっとりご当地グルメフェスタ	鳥取市(久松公園)	9:30~15:30
	10 日	とっとりご当地グルメフェスタ	鳥取市(久松公園)	9:30~15:00
	11 月	公民館講座 (大正琴) 公民館講座 (絵手紙・油絵) 町実年ソフトボール大会	防災・情報センター 防災・情報センター 運動公園総合グラウンド	10:00~12:00 13:30~15:30 開会式19:00~
	12 火	公民館講座 (パッチワーク)	防災・情報センター	13:30~16:00
	13 水	公民館講座 (気功体験教室) 公民館講座 (書道)	防災・情報センター 防災・情報センター	13:30~15:00 13:30~15:30

## 奥大山高原の駅 しろうさ・くろうさオープン!

店の1階では野菜などの物産品が販売され、2階では四季折々の旬野菜でつくった軽食と喫茶で休憩ができます。

- 営業日 4月28日~6月末(予定)
- 定休日 毎週月曜・火曜日
- 営業時間 9:30~15:30



### 今月の国民年金

納付期限 4月分 平成24年5月31日まで

日本年金機構から送られている納付書を添えて金融機関でお支払いください。なお、口座振替の方は、上記期限が振替日です。

### 《5月の納税は》固定資産税I期

納期限は5月31日(木)です。(口座振替は5月31日)

今月の表紙



### こいのぼりの由来について

こいのぼりの由来は、鯉が「龍門」という急流の川をのぼると龍になって天へ登るといふ中国の伝説からきています。健やかな成長と立身出世を願うご家族の温かいまごころです。こいのぼりを立てることは、男児の誕生を天につげ、その守護を願うための目印ともされています。

**ご寄付**  
社会福祉協議会に次の方からご寄付をいただきました。(4月分) 敬称略  
◎香典返しとして  
本一森 徳子 夫正幸死去

◎こいめい福を祈ります  
(住所) (氏名) (年齢) (世帯主)  
本一森 正幸 75歳 徳子  
久連 登 76歳 美代子  
尾之上原 竹茂 一伸 63歳 恵子

**人の動き** 4月届(敬称略)  
◎お誕生おめでとう  
(住所) (氏名) (性別) (保護者)  
佐川 伴藤まひろ 女 雅哉

# 4・5月誕生 地域の宝物

## (保育園編)

発行月に誕生日を迎えられる満5歳までのお子さんの写真を募集しています。住所・お子さんの生年月日・保護者氏名を記入のうえ、30字程度のコメントを添えて総務課まで郵送、持参、メールをしてください。



**えんどう ゆうかちゃん(4才)**  
ゆうかちゃんおたんじょうびおめでとう。これからたくさんたのしいおはなしきかせてね。



**えんどう あいくちゃん(2才)**  
2才のお誕生日おめでとう。その笑顔が宝物。のびのび育ってね。



**おおたに みろくちゃん(3才)**  
まだまだ甘えん坊だけど、ちょっとずつお兄ちゃんになってね。



**もりた こはるちゃん(5才)**  
絵本大好き。歌大好き。走るの大好き。いっぱい大好きつくってね。



**しのむら しゅんせいちゃん(3才)**  
3才誕生日おめでとう。これからも元気に大きくなってね。



**たなか れんたろうちゃん(5才)**  
ずいぶんお兄ちゃんになりました。いろいろな友達の絆を作ってね。



**だて つかさちゃん(3才)**  
お話が上手で歌とダンスが大好きな月咲。3才おめでとう。



**ふじはら なおとちゃん(6才)**  
6才のお誕生日おめでとう。たくさんあそんですくすく大きくなってね。



**きっかわ みゆちゃん(4才)**  
何でも知っているみゆちゃん。ホントは何才なの？



御机にて

**町長後記**  
今年の春は寒い日が続いていましたが、新緑の色も少しずつ増すよい季節となりました。先日、町内を巡回しましたが、農家の皆さんが忙しく田植への準備に励んでおられました。先日開催された江府町農業公社の理事会では、現在の農作業受託だけでなく、直接農家から農地を借り受けての事業の必要性について理事からのご意見もありました。今後、農業委員会とも協議を行い検討してゆくことになりましたが、行政といたしましても、しっかりと江府町の農地を守る施策を講じなければと考えるております。